

“ふるさとの童謡を語る会”が開催されました。



教育文化部会では、2月17日(日)松代公民館で、松代が生んだ著名な作詞、作曲家〔草川信、海沼實、山上武夫、坂口淳〕の親戚・知人を囲んで、ふるさとの童謡を語る会を開催しました。当日は、約250名の方が会場を埋め、パネルディスカッションでは、偉人たちの生い立ちや親交関係などが紹介されました。また、信州松代マンドリン合奏団や松代音楽合唱団による演奏、参加者の大合唱も行われ、皆さんが童謡の魅力を再認識し、童謡の地松代ならではのイベントを開催することができました。



パネリスト： 草川晴雄、草川宣人、塚本 武、山上武生、青木のり子、山本和男

コーディネーター： 島田俊夫 (敬称略)

- 【草川信】1893年県町生まれ(両親は西条の人)
「汽車ポッポ」「夕焼け小焼け」など作曲
幼かった海沼實ら子供達にバイオリンを教えた
- 【海沼實】1909年御安町生まれ
「お猿のかごや」「みかんの花咲く丘」「里の秋」など作曲 「うまれたきょうだい11人」は日本レコード大賞童謡賞を受賞
- 【山上武夫】1917年伊勢町生まれ
「お猿のかごや」「うまれたきょうだい11人」など作詞 草川信、海沼實との作品も多い
- 【坂口淳】1908年裏柴町生まれ
キングレコードの専属作詞家「子鹿のバンビ」など作詞 中山晋平とのコンビで20数曲発表

その他の部会から

【エコー・ド・まつしろ関連事業部会】

2008春・夏の活動プログラムができましたので全戸配布します。3月16日(日)サンホールマツシロで武田徹さんらをお迎えし、『春を楽しむふるさとフェスティバル』とエコー・ド・まつしろ倶楽部専科まつりを開催します。詳細は別配布のチラシご覧下さい。

【松代城関連事業部会】

4月10,12,13,19,20日に松代城春まつりを開催します。また、実行委員会の総会を3月上旬に予定しております。平成20年度に入り交替の時期ですが、**19年度**の区長さん、各団体の役員の方ご協力をお願いします。

【歴史的建造物活用関連事業部会】

松代地区歴史的建造物活用事業基金にご協力ありがとうございます。基金は5カ年計画ですので、今後も負担にならない範囲で、各々事務局へお持ちいただければ幸いです。また、部会では樋口邸、前島邸などの文化財の活用方針も市に協力して検討してまいります。

【福祉部会】

お年寄りの方などの暮らしに便利な「家庭保存版ミニガイド」作成中。近く全戸配布いたします。

【安心安全部会】

防災訓練やいざという時のために、住民自治協議会本部や7地域の各本部の位置がわかるよう、目印となるのぼり旗などを作成しています。また、防犯委員会では、車上狙い対策のための看板設置も検討しています。



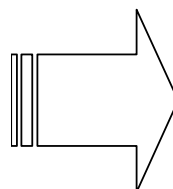
長野市都市内分権構想スケジュール

既にご承知の方も多いと思いますが、昨年、各種団体の見直し案が長野市から示されました。新聞誌上や市ホームページなどでも掲載されていますが、その概要をお知らせします。

第一期 平成22年度から実施

特定の個人に対する市長委嘱の見直し

- ・ 区長
- ・ 交通安全推進委員
- ・ 保健補導員
- ・ 男女共同参画市民推進委員
- ・ 環境美化指導員
- ・ 青少年健全育成指導員
- ・ 少年育成委員
- ・ 人権同和教育指導員 など



市長の委嘱制度を廃止し、協議会で必要な分野の担い手を独自に確保する仕組みを構築する。

各種団体の地区組織の見直し

上記委員等々の所属する団体についても、平成21年度をもって市が関与しない任意組織になり、組織を存続させるかどうか地区で検討します。また、地区組織に対して交付されていた補助金は、住民自治協議会へ一括して交付されることとなります。

イベント・研修会等への参加・出席要請の廃止

つまり、支所等に事務局のある団体については、その必要性を考える時期になったということですね。



第二期 平成24年度から実施

法定、国や県等が設置した団体に対する補助金等及び区や地域を対象とする補助金等を一括交付に含められるか検討を行います。〔民生児童委員協議会、防犯協会、交通安全協会、保護司会など〕

第三期 平成27年度から実施

法改正、国や県との協議を視野に入れて、法律に基づき設置された団体、国や県等が設置した団体の委嘱のあり方などを検討します。

編集後記

中国で加工生産された餃子からメタミドホスが発見され、私たちの食卓に大きな警鐘を鳴らしました。国内産の材料を使用した手作り餃子が増えているとか。気忙しい毎日、つい冷凍食品に頼りがちな食生活、食の安全を考えさせられます。自分の健康は自分で守る。「自分たちの地域は自分たちでつくる。」と目標に掲げた住民自治協議会と同じですね。いよいよ地産地消(その地域でとれた野菜等をその地域で消費すること)に力を入れる時が来たのかもしれません。どんな形にせよ活性化に繋がればうれしいことです。

ところで、協議会役員の任期が終了するため、平成20年度総会からは、新たな顔ぶれで団体の見直しなど、様々な課題に取り組むこととなります。皆様のご理解・ご協力を心からお願いいたします。